

## 事例2 歴史的事象について、絵画資料の読み解きを通して考察させる授業

### 1 ねらい

この事例では、絵画資料を読み取り解釈することを通して、歴史的事象を歴史的文脈の中で理解する力や、歴史的事象の意義について考察する力の育成を目指した。

世界史の授業では、教科書に沿って教師の講義を聞く場面が多く、生徒の主体的な活動が取り入れられることは少ないのが現状である。生徒の主体的な活動を促すための工夫として、生徒の興味・関心をひきやすい視覚的資料を活用することは有効であると考えた。

ヨーロッパ史のうち、「ルネサンス」「フランス革命」「産業革命」「19世紀の文化」の単位について、絵画資料から、歴史の流れ、変化、意義などを読み取って考えさせる授業を実施した。授業実践は、第2学年、第3学年を対象に行った。

なお、この事例では、「絵画を読み解くこと」とは「絵画を読み取り解釈すること」であるとし、具体的には、絵画の全体的な印象、絵画のテーマや主題、描かれている具体的な事物、色彩や表現方法など、様々な部分に着目することによって、絵画に表れている時代の特徴や、歴史の動きや変化、歴史的事象がもつ意義などを理解したり考察したりする学習活動を行った。

### 2 指導計画・評価計画

#### (1) テーマ全体の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
絵画資料に関心をもち、積極的に課題に取り組んでいる。	絵画資料を読み解くことを通して、歴史の流れや変化、意義について考察している。	絵画資料を活用し、読み取ったことや考察したことを明確に表現している。	近代ヨーロッパの歴史について理解し、基礎的知識を身に付けている。

#### (2) テーマの実践計画

##### ①ルネサンス

古代・中世・ルネサンス期のそれぞれの時代に描かれた三美神の表現を読み取ることによって、歴史の流れをとらえ、ルネサンスはどのような運動であったのかを理解する。

##### ②フランス革命

革命前及び革命後の寓意画の読み取りを通して、フランス革命によりどのような変化があったのかを考察する。

##### ③産業革命

産業革命期の労働者階級が描かれている絵の読み取りを通して、労働運動や社会主義運動の発生について考察する。

##### ④19世紀の文化

新古典主義、ロマン主義、写実・自然主義、印象派と変遷した絵画のそれぞれの特徴から、その背景にある政治や社会の状況を読み取る。

### 3 授業実践

#### 実践1 ルネサンス

##### (1) 本時の目標

古代・中世・ルネサンス期のそれぞれの時代に描かれた三美神の表現を読み取ることによって、歴史の流れをとらえ、ルネサンスはどのような運動であったのかを理解する。

##### (2) 本時の指導計画・評価計画

段階	時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価計画 〔評価方法〕
導入	5分	○三美神について ・3枚の三美神の絵を見て比較する。		
展開	35分	○3枚を時代順に並べ替え、その根拠をワークシートに記入する。 <b>(ワークシート①②)</b> ○ワークシートの内容を発表する。 ・正解を確認する。 ○中世からルネサンスへ ・中世ヨーロッパ文化について復習する。 ・人間性や個性を尊重するルネサンスについて、教師の説明を聞き、古典文化がその模範となったことを理解する。	・自由な発想でよいが、根拠を明確にするように指示する。  ・ローマ＝カトリック教会の影響力について確認する。	・根拠に基づいて並べかえを行い、説得力のある理由が書けている。 <b>【思考・判断】</b> <b>【資料活用の技能・表現】</b> 〔ワークシート①②〕
まとめ	10分	○ルネサンスとはどのような運動であったかについて、絵画から読み取ったことをもとにまとめる。 <b>(ワークシート⑥)</b>		・絵画資料をもとにルネサンスについて理解している。 <b>【知識・理解】</b> 〔ワークシート⑥〕

##### (3) ワークシート

#### ワークシート〈ヨーロッパのめざめ〉

ア	中世：14世紀の写本の さし絵	イ	ルネサンス：ポッティ チェリ「春」の一部	ウ	古代：ポンペイ出土の 1世紀の壁画
---	--------------------	---	-------------------------	---	----------------------

①上の三美神を年代順に並べ替えてみよう。(            →            →            )

②並べ替えた根拠を書いてください。

③表情や動きが硬い感じがする絵はどれですか。

④似ている絵はどれですか。(            と            )

⑤時代順に並べ替えた正解(            →            →            )

⑥ルネサンスとはどのような運動なのだろうか。

#### (4)実践の概要

最初の並べ替えでは、間違いを恐れず自分の思ったとおり自由にやってみよう促した。ただし、その根拠を明確にしてワークシートに記入するよう指示した。

生徒は、楽しみながらあれこれと考えて並べ替えを行っていた。ほとんどの生徒が、自分なりの根拠を挙げて並べ替えることができた。色に注目したり、人間の描かれ方に注目したり、絵の細かさに注目したりなど、いろいろな角度から、絵を読み取ろうとしている様子が見られた。

並べ替えの結果としては、絵の表現が平面的か立体的か、動きがあるか、等の観点から「ア（中世）→ウ（古代）→イ（ルネサンス）」とした生徒が最も多かった。これは、教師の予想どおりであったことから、古代、中世、ルネサンスというそれぞれの時代の文化の特徴、特にカトリック教会の影響力について説明し、絵画の表現にどのように表れているかを確認させた。その後、ワークシートの⑥にルネサンスとはどのような運動だったかを、あらためてまとめさせた。

以下は、生徒が並べ替えた結果とその根拠の主なものである。

##### ○ウ→ア→イと答えた生徒（正解）

- ・人が立体的に描かれるようになったから。
- ・衣服を身につけるようになってきているから。衣服にさまざまな種類がみられるから。
- ・絵の色がだんだん鮮やかになっているから。色づかいが古い順に並べた。
- ・イが一番細かいところまで描いてあったから。色づかいが細かくなっているから。

##### ○ア→ウ→イと答えた生徒（誤答）

- ・アは絵の描き方が壁画に似ているから（平面的）。イ、ウは絵が立体的になっているので新しいと思った。
- ・イの方が背景が描かれていること、絵の具の色などで新しいと思った。
- ・アは髪型や服装に自由がなく、しばられている感じがした。イは自由な感じがして色彩も鮮やか。
- ・体の線がより人間の体らしく表現され、色づかいが多いほうが後の時代のものだと思ったから。
- ・表現が豊かになっていると思うから。
- ・絵の技術（色使い、背景など）や三美神の体の動きを見て、この並びにした。
- ・アが壁画っぽくて、古い感じがした。ウよりイの方が色鮮やかで背景がしっかり描かれている。また、一人一人個性があるようなところに現代性を感じたから。
- ・新しくなるにつれて、より緻密に、丁寧に描かれている。だんだんと立体的になっている。
- ・アは3人とも堅苦しい感じがする。イは立体的で一番「三美神」という感じがする。ウはイに似ている。

##### ○ウ→イ→アと答えた生徒（誤答）

- ・身につけているものに注目した。ウはまったく何も身につけていないような裸。イは少しだけ身につけている。アは完全に服を着ている。
- ・一番昔は裸だったが、服を着る習慣が増えてきて、アはほとんど裸を隠している状態である。

## 実践2 フランス革命

### (1)本時の目標

革命前及び革命後の寓意画の読み取りを通して、フランス革命によりどのような変化があったのかを考察する。

(2) 本時の指導計画・評価計画

段階	時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価計画 〔評価方法〕
導入	5分	○フランス革命前後の寓意画 ・2枚の絵画を見て、それぞれ革命前のものか後のものか予想する。 ・正解を確認する。	・着目するところを明確にするように指示する。	
展開	35分	・それぞれの絵画から読み取れることを <b>ワークシート②③</b> に記入する。 ・フランス革命とはどのような革命なのかを考え、 <b>ワークシート④</b> に記入する。 ○旧体制（アンシャン＝レジーム） ・フランス革命前の3つの身分について説明を聞き、寓意画でどのように描かれているかを確認する。 ○フランス革命の展開 ・国民議会結成までの経過について教師の説明を聞き、封建的特権の廃止宣言や人権宣言について理解する。	・岩が意味していることに着目させる。  ・第1・第2身分と平民について、権利と義務を明確にする。	・フランス革命によりどのような変化があったのか、絵画を踏まえて具体的に考察している。 <b>【思考・判断】</b> 〔ワークシート④〕
まとめ	10分	・寓意画の読み取りを踏まえて、フランス革命とはどのような革命なのかまとめる。 <b>(ワークシート⑦)</b>	・最初の考えと比較させる。	

(3) ワークシート

**ワークシート〈フランス革命〉**

① フランス革命前と後の絵をそれぞれ選ぼう。

ア

革命後の3身分  
(聖職者、貴族、平民が1つの岩を背負っている)

イ

革命前の3身分  
(平民が岩に押しつぶされて横たわり、岩の上に聖職者と貴族が立っている)

② アからどのようなことが読み取れるだろうか？

③ イからどのようなことが読み取れるだろうか？

④ ②・③から、フランス革命はどのような革命だと考えられますか？

(革命によってどのような変化があったのだろうか)

⑤ 旧体制（アンシャン＝レジーム）

⑥ フランス革命の展開

⑦ フランス革命とは

#### (4)実践の概要

**実践2**では、2枚の寓意画を比較して、フランス革命によってどのような変化があったのかを考えさせた。生徒たちは、絵に込められた意図を読み取ることができた。また、**実践1**に比べて文章で表現することに慣れ、上達が感じられた。

2クラスで実施したうち、最初のクラスでは「岩」が意味していることに着目するよう促さずに考えさせたところ、「平等になった」ということは分かったが、具体的に何が平等になったのかを書けた生徒はいなかった。2番目のクラスで「岩」に着目するように指示したところ、岩の意味を解釈し、具体的に何が平等になったのかを考察することができた。この2クラスを比較すると、教師からの「絵のどこに着目するか」というアドバイスによって、思考が促されていたことが分かった。

後者で、ワークシートの④の記述を、次の評価基準で評価したところ、Aが9名、Bが21名であった。なお、無記入の生徒は7名であった。

評価基準 A フランス革命によってどのような変化があったのかを具体的に考察している。

B フランス革命によってどのような変化があったのか考察している。

以下は、生徒がワークシートに記入した主な内容である。

#### ③イ（革命前の絵）からどのようなことが読み取れるか。

- ・上的人是下の人に働かせて楽をしている。AとBが権力をもっていた。苦しいことはCにおしつけている。
- ・平等ではなく、貴族がいい思いをしていて、平民は苦しい思いをしている。
- ・地位の高い人との格差がある。上下関係がある。
- ・地位の高い者などが上に立ち、下の者をこき使っている感じ。踏み台になっている岩は租税や教会への税などを表しているのではないか。
- ・1人が2人分の税金を負担している。

#### ②ア（革命後の絵）からどのようなことが読み取れるか。

- ・3人で協力し合っているので、貴族・平民が平等。
- ・革命が終わって立場が逆転した。地位など関係なしに皆で背負っていく感じ。
- ・全員がやるせない顔をしている。革命が起きたあとに苦しい状況に追いやられたように感じられる。全員が平等になった。
- ・階級が関係なくなった。税が重くなった。
- ・ABC皆岩をかついでいる。Bが後ろを見ている。この状況に納得いかないのだろうか。

#### ④フランス革命はどのような革命か。（革命によってどのような変化があったか。）

〈評価Aの解答例〉

- ・今までの身分制度を廃止し、国民を皆平等にしていく革命。
- ・すべての人の権利が平等になる革命。
- ・皆が平等に生活できるようにするための改革（税の負担など）。
- ・身分の差による税の負担の差をなくした。

〈評価Bの解答例〉

- ・貴族と平民を平等にするための革命。

### 実践3 産業革命

#### (1) 本時の目標

産業革命期の労働者階級が描かれている絵の読み取りを通して、労働運動や社会主義運動の発生について考察する。

#### (2) 本時の指導計画・評価計画

段階	時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価計画 〔評価方法〕
導入	10分	○「児童労働についての調査報告」について、当時の少女たちの生活時間を円グラフ化して、現在の自分の生活と比較する。(ワークシート①)	・現在と比較することで、問題点を把握しやすくする。	
展開		○「むちでうたれる少年労働者」の絵を見て、現在の労働状況と異なる点を挙げる。(ワークシート②) ○「労働者が生活するロンドンの路地裏」の絵から、当時の人々の生活の様子を読み取り、ワークシート①、②から分かることも含めて、産業革命期の労働者の生活について文章にまとめる。(ワークシート③) ○労働者のその後の行動を予想する。(ワークシート④) ○労働運動や社会主義思想の発生について、教師の説明を聞く。	・3つの作業から読み取ったことをもとにまとめさせる。	・資料から読み取ったことを自分なりに説明している。 【資料活用の技能・表現】 〔ワークシート③〕

(3) ワークシート

ワークシート 〈資本主義の発達と社会主義運動の発生〉

①教科書の「児童労働についての調査報告」を見て、当時の少女たちの生活時間を図Aにグラフ化してみよう。また図Bには昨日の自分の生活を書き込んで図Aと比較してみよう。

●児童労働についての調査報告(1832年)

Q: 最も忙しい時期に、少女たちは何時に工場へ行きますか。

A: それは6週間ばかりの期間ですが、少女たちは朝3時に工場に行き、仕事を終えるのは夜10時から10時半近くでした。

Q: 19時間の労働の間に、休息・休養のための時間はどれだけ与えられましたか。

A: 朝食に15分、昼食に30分、そして飲料をとる時間に15分です。

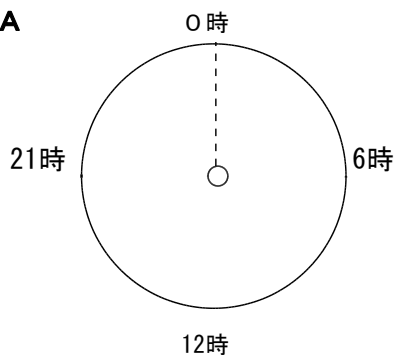
Q: もしも彼女たちが遅刻したらどうなるのですか。

A: 給料をクォータ※されました。(※給料を4分の1減らすこと)

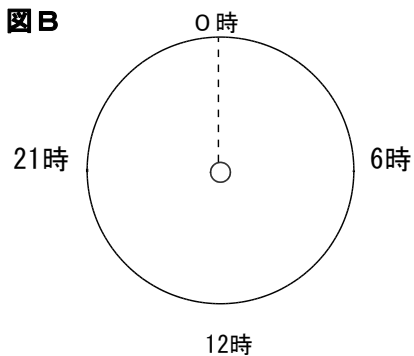
Q: どのくらい遅刻したらクォータされるのですか。

A: 5分です。

図A



図B



②「むちでうたれる少年労働者」の絵を見て、現在の労働状況と異なる点はどこにあるか、

答えよう。

③「労働者が生活するロンドンの路地裏」の絵を見て、当時の路地裏の様子やそこに暮らす人々の様子を読み取り、①②から分かることも含めて、産業革命当時の労働者の人々はどのような

生活をしていたか、まとめよう。

④労働者は、③のような生活状況のもとで、どのような行動に出ると予想できるだろうか。

(4) 実践の概要

**実践3**では、産業革命期の労働者の労働条件や生活状況について、グラフや絵画から読み取り、それをもとに労働者がとるであろう行動を考えさせた。その後、労働運動や社会主義思想について説明を加えることで、より深く共感的な理解につながったと考える。

②については、生徒は現在の労働状況を頭の中で思い浮かべ、現代と産業革命期とを比較しながら、当時の労働状況を読み取っていたようである。

③は、グラフと2枚の絵画の読み取りのまとめとして記述させた。ここでは、ほとんどの生徒が、グラフと絵画から読み取れることを、総合して書くことができた。

④では、③をもとにその後の労働者の行動を考えさせたが、生徒は、ほぼ歴史的事実に即して考えていた。導入部で自分の生活との比較を行ったことにより、現在と当時の労働環境の違いを実感することができ、労働者の状況をどうしたらよいかを真剣に考えている様子であった。また、中学校までの社会科や現代社会で学んだ事項が生かされている面もあると考えられる。

③について、ワークシートの記述を次の評価基準で評価したところ、Aが15名、Bが7名であった。単純な比較はできないが、**実践2**「フランス革命」よりもAの生徒が増えている。また無記入の生徒は1名で、**実践2**より大幅に減った。

評価基準 A グラフと2枚の絵画から読み取ったことをもとに、総合的に説明している。

B グラフと2枚の絵画から読み取ったことの一部をもとに、説明している。

以下に、ワークシートの主な記入内容を挙げる。

②現在の労働状況と異なる点はどこにあるか。

- ・今の社会は労働基準法があり、一日の労働時間もきちんと決められ、このような厳しい労働もありえないのに、私たちと同年代の少年が給料も安いのにムチでたたかれてまで働いている写真を見ると、改めてひどい社会だったと感じた。
- ・今はムチで打たれることなどないから、相当厳しいものだったと思う。
- ・労働者に対する暴力が普通だった。
- ・女性と子供だけが働いている。(男性は見張り)
- ・見張り役のように監督がいた。
- ・今は少年の時に働かなくても生きていける。叩かれることはない。

③産業革命当時の労働者の人々はどのような生活をしていたか、まとめなさい。

〈評価Aの解答例〉

- ・不衛生で貧しい。長時間労働、安い賃金で働いていた。
- ・長時間働いているが、賃金が安いので生活が苦しい。
- ・賃金が安く、労働時間が長いけれども、それが当たり前の生活。

〈評価Bの解答例〉

- ・不衛生で貧しい生活をしていたが、家族は助け合っていたのではない。
- ・苦しい生活だが、家族がおり、笑顔が見られる。
- ・暮らしている場所が汚く、体も心も休まらない。

④労働者はどのような行動に出ると予想できるか。

- ・長時間労働と安い賃金をどうにか改善しようと、労働者たちで工場の管理人などに訴えた。
- ・労働者でグループを作り、意見を言うようになった。
- ・資本家のところへ大勢でおしよせる。
- ・労働組合を結成して、生活と権利を守る運動を始めた。
- ・低賃金で厳しい仕事だからやめてしまう。
- ・貧しくつらい生活に耐えられなくなり、暴動をおこす。
- ・犯罪に走る。
- ・ストライキ、ボイコット。



## 実践4 19世紀の文化

### (1) 本時の目標

新古典主義、ロマン主義、写実・自然主義、印象派と変遷した絵画のそれぞれの特徴から、その背景にある政治や社会の状況を読み取る。

### (2) 本時の指導計画・評価計画

段階	時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価計画 〔評価方法〕
導入	5分	○19世紀の絵画計12点を鑑賞する。 (資料1参照)	・絵画をスライドで見せながら、描かれている場面について簡単に説明する。	
展開	40分	○12点の絵画を4つのグループに分け、その理由を <b>ワークシート</b> に記入する <b>(作業1)</b> 。  ○グループ分けの正解及び作品名と作者名を確認する。  ○資料2を参考にして、4つのグループがそれぞれ何主義なのかを判断し、時代順に並べ替える。判断の理由を <b>ワークシート</b> に記入する <b>(作業2)</b> 。	・絵画の全体的な印象だけでなく、描かれている題材に着目するよう指示する。また、時代状況が絵画に反映されることに留意させる。	・自分なりの理由に基づいてグループ分けをしている。 <b>【思考・判断】</b> 〔ワークシート作業1〕  ・資料2をもとに何主義なのかを判断し、その理由を記述している。 <b>【思考・判断】</b> <b>【資料活用の技能・表現】</b> 〔ワークシート作業2〕
まとめ	5分	○19世紀の絵画の特徴とその時代背景について、それぞれ確認する。		

(3) ワークシート

**ワークシート〈19世紀の文化〉**

**作業1** ①～⑫の絵画を4つのグループに分けよう。(1グループ3枚に)

そして、なぜこのようなグループに分けたのか、それぞれ理由を書こう。

	グループ分け	分けた理由
A		
B		
C		
D		

**作業2** グループA～Dはそれぞれ何主義にあたるだろうか。資料2の年表や絵画の特徴を参考に判断し、時代順に並べ替え、その理由を書いてみよう。

時代順	A～D	主義	理由
1			
2			
3			
4			

(4) 配付資料

授業の最初にスライドで提示するとともに、生徒に配付した絵画資料は、以下のとおりである。

**資料1**

- ①ダヴィド『ホラティウス兄弟の誓い』
- ②モネ『印象・日の出』
- ③ミレー『落ち穂拾い』
- ④ドラクロワ『民衆を導く自由の女神』
- ⑤ダヴィド『サヴィニの女たち』
- ⑥ドラクロワ『キオス島の虐殺』
- ⑦ジェリコー『メデューズ号の筏』
- ⑧ミレー『晩鐘』
- ⑨スーラ『グランドジャット島の日曜日の午後』
- ⑩ルノワール『ムーラン＝ド＝ラ＝ギャレット』
- ⑪ダヴィド『ナポレオンの戴冠式』
- ⑫クールベ『石割り』

4つの絵画グループがそれぞれ何主義なのかを判断して時代順に並べ替える際に、参考にさせた資料は以下のとおりである。

資料2 年表 (主なできごと、社会状況)	絵画の変遷と主な特徴
1776 アメリカ独立宣言 1789 フランス革命始まる、人権宣言 (理性の尊重)	<b>新古典主義</b> ・古代ギリシア・ローマを模範に理想的な美を描く ・線描の正確さ
1804 ナポレオン、皇帝となる (自分を古代ローマの皇帝になぞらえる) 1814 ナポレオンの没落 1815 ウィーン体制成立 *自由主義運動、民族主義運動	<b>ロマン主義</b> ・新古典主義を批判 ・自由な想像力で、人間の感情や行動を劇的に描こうとする
1830 七月革命 *フランスで産業革命始まる 1848 二月革命 *産業革命の進展 → 資本主義の発達、市民の台頭 資本家と労働者の階級対立	<b>写実主義</b> ・理想や空想美でなく、身の回りの素材に美を見いだす ・農民・労働者のありのままの姿を描く
1852 ナポレオン3世即位 *国民主義運動の進展 1861 イタリア王国成立 1871 ドイツ帝国成立 1878 パリ＝コミューン (史上初の社会主義政権の誕生) *科学技術の発達 *カフェの流行 (庶民の社交場として) 1870年代 *帝国主義時代の始まり	<b>印象派</b> ・科学の発達に影響され光の変化に応じる色調の変化、一瞬の主観的印象を描く ・身近な光景が題材

(5) 実践の概要

ワークシートの作業1で、絵画のグループ分けをさせ、その理由を書かせた。その際、絵画の全体的な印象や表現方法だけに着目するのではなく、当時の政治・社会状況が絵画に反映されていることを意識し、描かれている題材にも着目するよう指示した。

グループ分けの結果としては、写実主義・自然主義と印象派については、多くの生徒が分類でき、理由を書くことができた。新古典主義とロマン主義については、絵画の印象や題材が類似しているものがあり、難しかったようだ。しかし、新古典主義及びロマン主義の絵画と、自然主義及び印象派の絵画とを混同して、同じグループとした生徒は数名だけであった。また、3つの絵画のうち2つは正しく分類できた生徒が多かった。これらのことから、絵画を題材や特徴によっておおまかに分類することはできたと考えられる。

正答及び正答者数と主な理由、代表的な誤答と主な理由は以下のとおりである。(生徒数は29名)

正答

- ①・⑤・⑪ 2名 ・戦いの様子から。  
(新古典主義)
- ④・⑥・⑦ 2名 ・1番強い人が弱い人の上に立っているから。  
(ロマン主義) ・戦う人々、死人が描かれている。
- ③・⑧・⑫ 20名 ・農民の暮らしている様子が描かれている。  
(写実・自然主義) ・質素な感じがする。服装が似ているから。  
・タッチが似ていたから。
- ②・⑨・⑩ 18名 ・色が鮮やかで、光と色の変化がある。  
(印象派) ・平和でおだやかな感じがするから。  
・色遣いやタッチが近代的な感じがしたから。

主な誤答例

- ①・④・⑤ 10名 ・戦いの様子や服装が似ていると思ったから。  
・戦いの中で女性が表されている。  
・絵の描き方が似ている。もめている。
- ⑥・⑦・⑪ 7名 ・歴史的な出来事が絵になっているから。  
・タッチが似ている。
- ②・③・⑧ 2名 ・平和そうで静かな感じ。
- ⑨・⑩・⑫ 2名 ・貴族のようで高級な感じ。カラフルで良い服装をした人がいる。

作業2では、資料2を参考にして、それぞれのグループが何主義にあたるのかを理由も合わせて考えさせ、時代順に並べ替えをさせた。資料2で十分な情報を与えたため、多くの生徒が正しく答えることができたが、記述が画一的になる傾向があった。

生徒が記述した主な理由は以下のとおりである。

- |                    |  |
|--------------------|--|
| 新古典主義<br>(正答18名)   | ・古代ギリシア・ローマの時代の様子が表されていると思ったから。<br>・ナポレオンが登場している。<br>・1人1人が正確に描かれているから。  |
| ロマン主義<br>(正答15名)   | ・現代ではあり得ない感じが「想像力」に値していると思うから。<br>・何かの主張をしているのが、絵から読み取れるから。<br>・人間の感情が強く伝わってくるから。(苦しみ、悲しみ、怒りなど)<br>・革命などの戦いの様子が描かれている。 |
| 写実・自然主義<br>(正答20名) | ・農民・労働者のありのままの姿が描かれている。<br>・絵の背景に自然が描かれているから。<br>・農民などの人々の生活(日常)が描かれているから<br>・空想的な美しさがない。                              |
| 印象派<br>(正答20名)     | ・影の付け方、背景の色遣いが光の変化に応じて描かれている感じ。<br>・カラフルで色調の変化が強調されているのが分かるから。<br>・平和的、色づかいが鮮やか。                                       |

**実践4**では、単に絵画の名前とその主義の特徴を覚えるのではなく、絵画の変遷と、その背景にある政治・社会状況の変化との関連に考察が及び、19世紀のヨーロッパについて理解が深まったように思われる。なお、実践する際には、絵画史・美術史的な内容に傾かないよう留意する必要がある。

#### 4 アンケート結果

4つの実践が終わった後で、アンケートを実施した。結果は以下のとおりである。

- (1) 絵画を使うことで、ルネサンスに対する理解は深まりましたか。
- |                   |    |                |     |
|-------------------|----|----------------|-----|
| ア 深まった            | 3名 | イ どちらかといえば深まった | 21名 |
| ウ どちらかといえば深まらなかった | 2名 | エ 深まらなかった      | 0名  |
- (2) 絵画を使うことで、フランス革命に対する理解は深まりましたか。
- |                   |    |                |     |
|-------------------|----|----------------|-----|
| ア 深まった            | 7名 | イ どちらかといえば深まった | 17名 |
| ウ どちらかといえば深まらなかった | 1名 | エ 深まらなかった      | 1名  |
- (3) 産業革命では、絵画を使って現在と当時の労働状況を比較しました。そして、その後の労働者の行動について予想してもらいました。
- ① 自分自身で歴史の展開を予想することができましたか。
- |                  |    |               |     |
|------------------|----|---------------|-----|
| ア できた            | 2名 | イ どちらかといえばできた | 19名 |
| ウ どちらかといえばできなかった | 4名 | エ できなかった      | 1名  |
- ② 予想してみてどのように感じましたか。
- ・現代とは違い、厳しい生活だったと思いました。自分で考えていた以上のものが絵に描かれていました。現代につながる絵が多いと感じました。
  - ・民衆の様子を後世に残すために絵画は重要な役割をもっていたと思いました。
  - ・労働者が協力して解決すると思った。今の時代にそのようなことがあったら、私たちも同じことをしていたと思った。
  - ・時代と共に労働も変化したことを知った。今もいろいろな意味で大変だが、昔は昔で絶対に働きたくないと思った。
  - ・昔の労働は今よりはるかに大変だったと感じた。
  - ・昔と今では全然違うことに大変驚きました。
  - ・いつの時代も人間が行うことはあまり変わらないものだと思った。
- (4) 19世紀の文化では、絵画のグループ分けをしてもらいました。
- ① どうでしたか。
- ・難しかったけれども、いろいろな時代背景を知ることができてよかった。
  - ・絵画で時代の背景が読み取れて、絵画はすごいものだと思った。
  - ・とても楽しかった。また是非やりたい。
  - ・なかなか難しかったけれども、半分は当たった。答えの理由は違ったけれども、間違えたことで良く覚えられそう。
  - ・少し難しかったです。でも、いろいろ自分なりの考えを出せたので良かったです。
  - ・事前に絵画の説明をしてほしかった。絵の画像が細部まで見えなかったので、グループ分けをするのが難しかった。画像はもっと大きくしてほしい。
  - ・みんなで意見を出し合って考えながらできて勉強になった。
  - ・難しくて全然分からなかった。絵のタッチが似ていても時代が全然違っていった。
  - ・難しかったが、グループ分けを自らすることで、忘れにくい内容になったと思いました。
- ② 今まで絵画の読み取りを授業中に何回か行ってきましたが、今回それが生かされましたか。
- |                   |    |                |     |
|-------------------|----|----------------|-----|
| ア 生かせた            | 4名 | イ どちらかといえば生かせた | 17名 |
| ウ どちらかといえば生かせなかった | 2名 | エ 生かせなかった      | 1名  |

## 5 まとめ

### (1) 成果

絵画資料を読み取って解釈することを何度か繰り返すことで、絵画の読み取りに習熟する生徒の様子が見られた。様々な視点から絵画を読み取り、絵画が表現するものの意味や、その時代背景について考えることができるようになった。**実践4**「19世紀の文化」の後で実施したアンケートでも、「今までの授業で行ったことが生かされたか」という問いに対して、9割近くの生徒が肯定的な回答をしている。教師も、生徒の考察を促すために絵画を読み取る際の着眼点を適切に示すことが、徐々にできるようになった。

また、生徒の感想には「楽しかった、またやりたい。」「難しかった。でも楽しかった。」「カラーでおもしろかった。」などがあつた。視覚に訴え、イメージをつかみやすい絵画は、生徒にとってあまり身近であるとはいえない世界史の教材として非常に有効であると感じた。また、絵画のもつメッセージ性やその役割を実感した生徒もいた。絵画資料を活用することで、生徒の興味・関心が高まり、それが学習意欲を高めることにもつながったといえる。

さらに、「自分で考えることによって内容に対する理解が深まった。」「みんなで意見を出しながら考えられて勉強になった。」「間違えたことでかえって良く理解できた。」「グループ分けを自らすることで、忘れにくい内容になった。」などの感想から分かるように、課題追究学習に取り組むことで、知識・理解も深まるという結果も得られた。

以上のことから、絵画の読み解きを通して、歴史の流れを理解する力や歴史的事象の意義について考察する力を育成するというねらいは、ある程度達成できたと考える。

### (2) 今後の課題

**実践4**「19世紀の文化」については、「難しかった。」という感想が多く、「事前に絵画の説明をしてほしかった。」という意見もあつた。絵画に関する情報が少ないと難易度が上がり、逆に多すぎると易しすぎて考える余地のない学習になってしまう。生徒に適切な判断材料を与え、かつ思考を促すような情報の提示が課題である。

絵画の提示の仕方や、効果的な絵画資料については、まだ検証が不十分であり、今後も実践を重ねていく必要がある。

また、今回の授業実践は、生徒がそれぞれ一人で考える形態で行ったが、生徒同士の学び合いを促すために、今後は、ワークショップ型のグループ活動も取り入れてみたい。